

管内信用金庫の平成 30 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- コア業務純益は、資金利益の減益等により、29 年 3 月期に比べ▲5.2%の減益。
- 当期純利益は、コア業務純益が減益となったものの、株式等関係損益の増益や与信関係費用の減少等により、29 年 3 月期に比べ 0.8%の増益。

(単位：億円)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	3,437	3,302	3,173	▲129	▲3.9%
資金利益	3,030	2,915	2,877	▲38	▲1.3%
役務取引等利益	166	155	143	▲12	▲7.9%
債券等関係損益	200	187	112	▲75	▲40.2%
経費 (▲)	▲2,636	▲2,631	▲2,603	28	1.0%
コア業務純益	601	483	457	▲25	▲5.2%
与信関係費用 (▲)	▲84	▲75	▲23	51	68.5%
株式等関係損益	118	84	136	52	62.3%
当期純利益	630	493	497	4	0.8%

(参考)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
預金等 (末残)	28.6 兆円	29.3 兆円	30.0 兆円
貸出金 (末残)	14.0 兆円	14.3 兆円	14.6 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 29 年 3 月期に比べ減少。不良債権比率も 0.57 ポイント低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
不良債権額	7,477 億円	6,924 億円	6,215 億円
不良債権比率	5.27%	4.79%	4.22%

3. 自己資本比率の状況

- 29 年 3 月期に比べ 0.33 ポイント低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
自己資本比率	14.96%	14.59%	14.26%

(注 1) 集計対象は管内 38 信用金庫。(計数は単体ベース。)

(注 2) 経費、与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(注 3) 前期比、増減率は、正の値が利益の押し上げを、負の値が利益の押し下げを表す。

(注 4) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、前期比、増減率の計数が計算と一致していない場合がある。

(注 5) 各金庫からの報告計数を集計したものであるが、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。



【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第二課

TEL : (052) 951-1774

管内信用組合の平成 30 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- コア業務純益は、資金利益の増益等により、29 年 3 月期に比べ 7.9%の増益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、▲1.2%の減益。

(単位：億円)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	195	188	184	▲4	▲2.2%
資金利益	193	183	186	3	1.6%
役務取引等利益	▲5	▲6	▲6	▲0	▲8.9%
債券等関係損益	9	11	6	▲4	▲42.9%
経費 (▲)	▲149	▲144	▲142	1	1.3%
コア業務純益	37	32	34	2	7.9%
与信関係費用 (▲)	▲33	▲8	▲23	▲14	▲167.3%
株式等関係損益	0	3	4	1	43.4%
当期純利益	▲0	33	33	▲0	▲1.2%

(参考)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
預金等 (末残)	1 兆 3,521 億円	1 兆 3,647 億円	1 兆 3,800 億円
貸出金 (末残)	6,771 億円	6,929 億円	7,113 億円

預金等：預金＋譲渡性預金

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 29 年 3 月期に比べ減少。不良債権比率も 1.07 ポイント低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
不良債権額	642 億円	625 億円	564 億円
不良債権比率	9.45%	8.97%	7.90%

3. 自己資本比率の状況

- 29 年 3 月期に比べ 0.26 ポイント低下。

	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期
自己資本比率	12.73%	12.92%	12.66%

- (注 1) 集計対象は管内 15 信用組合。(計数は単体ベース。)
- (注 2) 経費、与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。
- (注 3) 前期比、増減率は、正の値が利益の押し上げを、負の値が利益の押し下げを表す。
- (注 4) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、前期比、増減率の計数が計算と一致していない場合がある。
- (注 5) 各組合からの報告計数を集計したものであるが、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

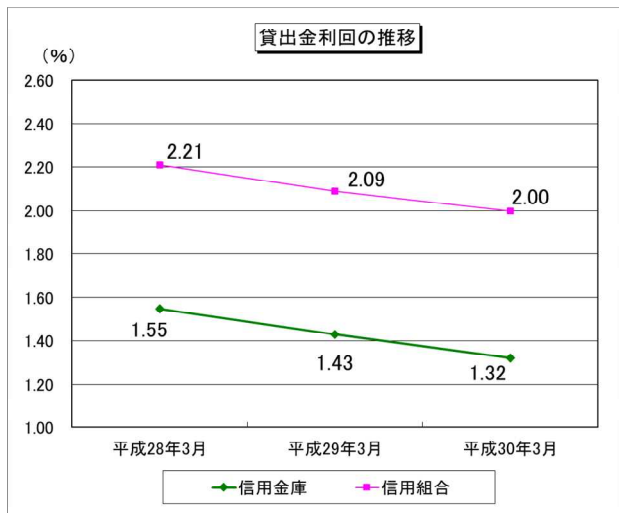


【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第三課
TEL : (052) 951-1775

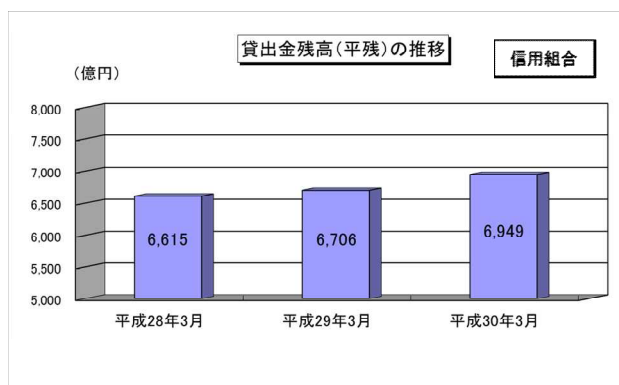
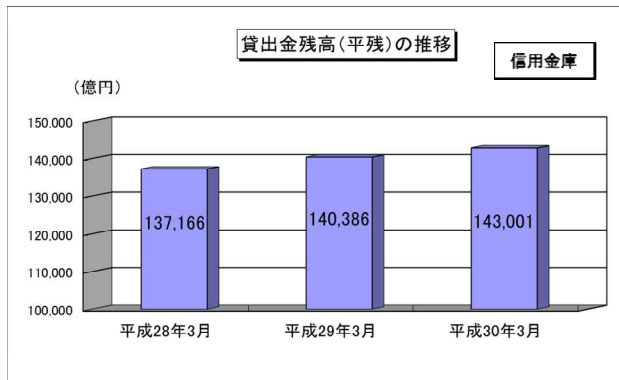
貸出金利回及び残高の状況

貸出金利回の推移



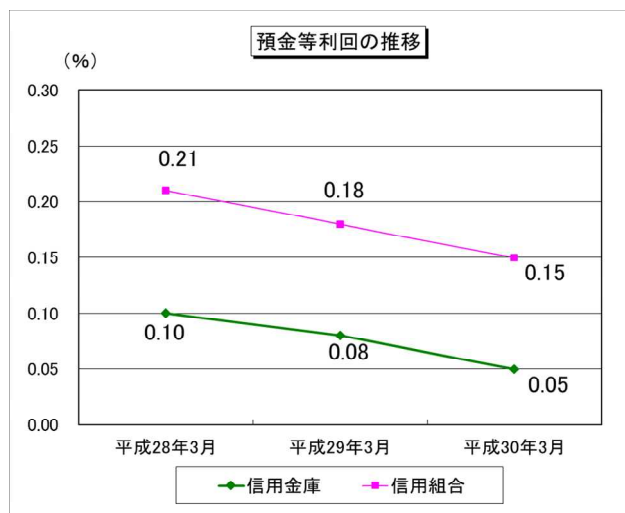
(注) 貸出金利回(%) = (貸付金利息 + 手形割引料) ÷ 貸出金(平残) × 100

貸出金残高(平残)の推移



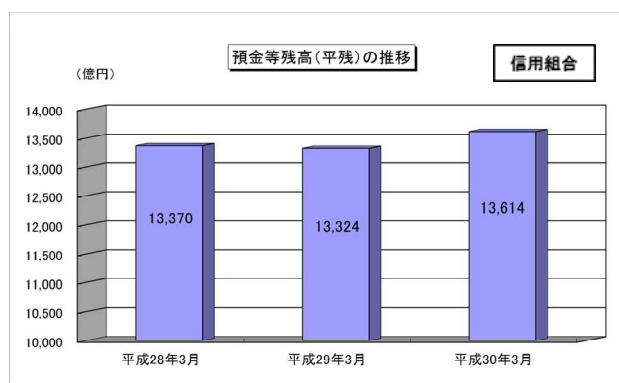
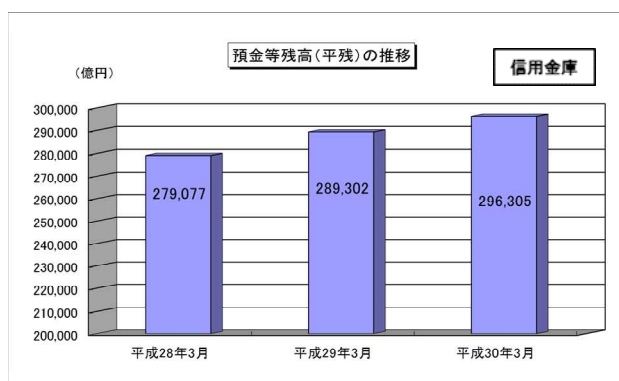
預金等利回及び残高の状況

預金等利回の推移



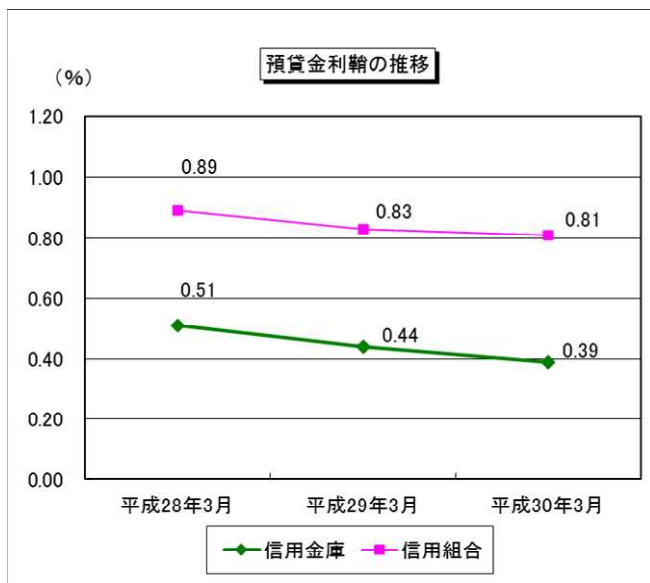
(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金
 預金等利回(%) = (預金利息 + 譲渡性預金利息) ÷ 預金等(平残) × 100

預金等残高(平残)の推移



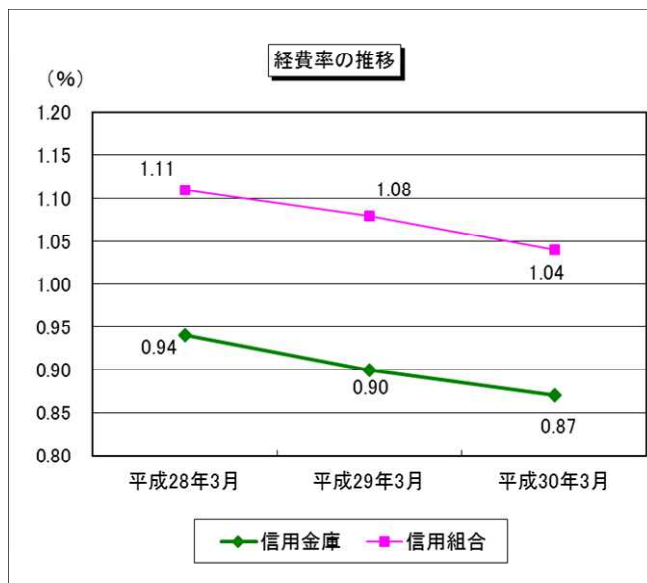
預貸金利鞘及び経費率の状況

預貸金利鞘の推移



(注) 預貸金利鞘(%) = 貸出金利回(%) - 預金債権等原価(%)
 預金債権等原価(%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等(平残) × 100

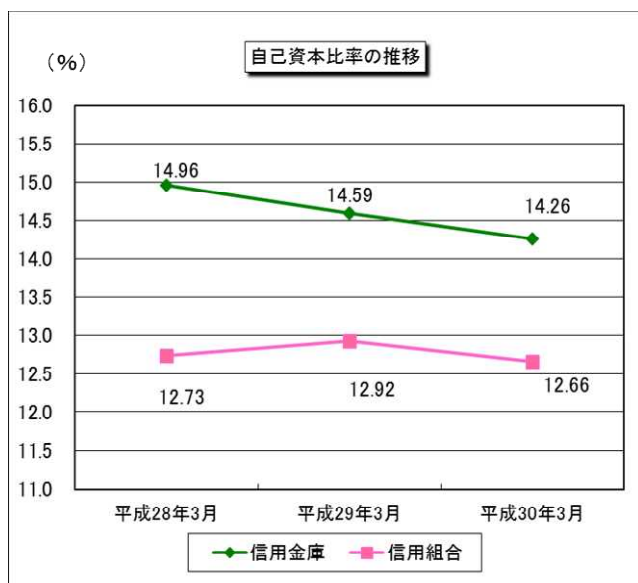
経費率の推移



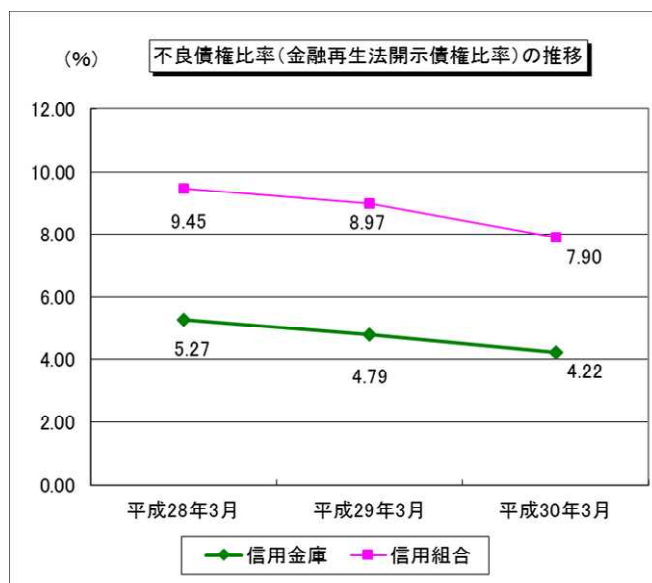
(注) 経費率(%) = 経費 ÷ 預金等(平残) × 100

自己資本比率及び不良債権比率の状況

自己資本比率の推移



不良債権比率の推移



※ 各計数は、各金融機関からの報告計数(単体ベース)を集計したものであるが、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。
 ※ 各計数の比率は加重平均。端数整理は、単位未満切捨てで処理。端数整理後の計数により計算している項目もある。